

お米のパワー

十和田市立南小学校 六年 煙山 麗治
 ぼくは、六年生になりました。朝食をパンからご飯に変えました。なぜなら、お米を食べるほどパワーがでるからです。

ぼくは小学校に入る前から、じいちゃんとばあちゃんの田んぼと畑のお手伝いをしてきました。それは、ぼくにとって体も大きくなり力も強くなつたので、小さい頃よりも出来

る仕事が多くなつたようを感じました。

初めてやつてみて大変だと感じたのは、田植え機を運転しているじいちゃんが田んぼのばじつこに来る前に苗を取りやすいように苗箱を地面にトントンとすよことです。苗箱は少し重いし、トントンにはコツがいります。ぼくが、一番がんばつた仕事は苗箱を洗う仕事です。じいちゃんが苗を田植機に入れたらあとに、空になつた苗箱を重ねながら集めて洗いました。水は思つていたよりも冷たくは

なくぬるかつたので、仕事がはかどりました。
まず、箱を水につけてゴビリ付いている土
を取りやすくなります。次に、グラシで付いて
いる土や草などをゴシゴシこすり落としま
す。そして、きれいになつたかを確認して、
十枚ずつ重ねます。そのあとは、ばあちゃん
がそれをひもで結んで、小屋に運びます。
いっしょうけとめい仕事をしていたので、
みんな暑くなり休けいをとりました。ぼくは
この時間が気に入っています。

田植えが順調に進んだので、早目に終わることが出来ました。

このあと、じいちゃんと田植え機を洗いま
した。ジエット洗浄機で洗つたので、一気に
汚れが落ちて楽しいし気持ち良かつたです。
ぼくは、手伝いをがんばったので、その日
の夜ご飯はいつも何倍も美味しく感じまし
た。

ぼくは、ご飯のだけた時の匂いがとても好
きです。すい飯器を開けた時のあのあたたか

いほわつとした良い匂いです。朝、ご飯をよそ、大時、食よくがわくし、パワーもみなぎります。ぼくは、真白なご飯にすじ子をこまかくご飯全体にていねいに散らして食べるのが好きです。

お米作りは、とても大変です。天気によつては虫が入らなかつたりすることもありますので心配な時もあります。新米かとれた時、うれしいし、米作りに加わることが出来て良い経験をしてきたなと思いました。

来年も米作りをがんばるぞ。